

めぐみちゃん」が生産調整

平成十二年五月には西三板金連合会がいち早く太陽発電システム研修会に取り組み九十名を超す受講者で関心の深さをアピールした。

各県板では近年社会現象である大不況を乗り越えるため将来性のある太陽光発電システムに積極的に取り組んで講習会を開いたり勉強会を開催していた。

愛知県板でも平成十一年に
全板連からソーラーシステム
についてのアンケートがあり
屋根材と一体型のシステムな
ら我々板金業者に適している

平成十二年五月には西三板金連合会がいち早く太陽発電システム研修会に取り組み九十名を超す受講者で関心の深さをアピールした。

愛知県板ではその年八月に太陽光発電関係事業委員会を発足し太陽光発電では先進県である埼玉県板の平野副理事長に相談役に就任を依頼、十月一日に愛知県中小企業セン

ターで第一回の太陽光発電システムの講習会を開催した。その講習会は主に日新総合建材㈱の「めぐみちゃん」を用いた講習会であった。

員長の提案で「めぐみちゃん」に加えてクボタの「エコロニー」も講習会に採用して三月二回、四月二回と四回の施工実習も含めた講習会を開催してき

展示会などイベントにも積極的に出品、板金組合がソーラーシステムに取り組んでいることをアピールしてきた。

ところが、三月七日全板崩れ
又理事長からFAXで日新総
合建材(株)が発売している太陽
光発電システムが平成十四年
九月で生産調整するとの方針
を打ち出してきたと報告が
あった。

「めぐみちゃん」のセルはキャノン製であるがそのセルを使用することが不都合になり止むなく生産調整となった。

今後は別のアモルファスセルを使用して生産されることもあり得るが、当面は製造がストップするようである。

全板連では今後も積極的に太陽光発電システムには取り組んでいくので理解してほしいとのことである。

愛知県板はクボタのエコロニーも実習しているのが当面は静観であるが、一宮支部では五月三日から六日までリバーサイドフェスティバルに太陽光発電システムを「空からのめぐみ」と題して展示出品するが、日新総合建材㈱の「めぐみちゃん」に変わるモジュールを展示する。

平成14年2月15・16日、機材展に行きました。場所は、

東京ビッグサイト西2ホール。
JR名古屋駅より新幹線ひ
かり214号に乘車、県板組合関
係者14名、ダクト組合関係者
26名の合計40名の参加でし
た。

雲ひとつ無い真っ白い富士山を眺めながら、一路東京へ。展示会場は、全国から団体が次々と入場し、たいへんな賑わいでした。

展示された三次元キャドの画面には、建物の中にダクトや機器を配置し立体感のある

平成十四年三月三日(日)、小牧ロイヤルホテルに於いて、尾張板金連合会総会に、各支部の代表者50名が参加し開催された。

今回はいつもと趣向を変え
講演会をもうけ、その後総
会を行った。

一時半より「安全作業に関する講話」と題し、講師に法定特別教育の坂長先生を招き、約一時間程安全作業に関する話をされた。講師の坂氏は清水建設の機材部を経て、玉掛講師等を行っており、わかりやすく説明された。

休憩後、21世紀の勝ち残り

口機材展に参加して

図があり、「それをカラーコピーすれば顧客に絶対満足してもらえるだろうな」と思いつつ、次のブースへ。

母材の上から挟まなくてもスポット溶接ができる機械や見積もりソフトは四万五千円

と超安価ながら原価計算はもとより、歩掛け等なかなかのソフトでした。こんな機械があったらなと思うものが現実化されていた機材展でした。16日は小田原のアマダ展示会場へ、レーザー切断機・部分的に微妙な曲げ調整ができるブレーキ機等コンピューター

をにかけて「板金業の利益三倍の戦略」と題し、(株)マードックの社長、荒山元秀氏の講演が始まった。このマードックという会社は板金業に携わっている方なら一度は耳にしたことがあると思うが、簡単に言えば、コンピューターを使って建物の立体画を出したり、積算見積りなどをして板金業者をサポートしている会社である。今回の講演では時間が足らず、話したい事が山ほどあると残念がっておられた。駆け足で講演会を終え、四時から総会へと移った。

を駆使したこれらの機械、こんな機械があればどんな物でもできそうです。

でも操作するのはやはり人、「時代に遅れないようＩＴ機器を勉強し対応しなければ」と肝に銘じた２日間であり、乾いた砂に水が染み込むように知識を得た、充実した見学会でした。

特に今回は若い人達が大勢参加していただきました。

うれしいことです。この人たちの使う未来機械は音声入力だけで切断や曲げ加工するのでしょいか？ そんなことを考えながら40名無事に帰宅した次第です。

厨房空調委員長 加藤哲夫

そして細野会長挨拶、議長には一宮の佐藤氏が選出され、議案審議にはいった。

十三年度事業報告承認、十四年度事業計画案、十三年度会計報告と会もスムーズに進み、ここぞ来賓の村上章理事長と、黄綬褒章を受章された羽柴弘和氏に挨拶をいただき村上理事長は、二〇〇五年の万博に全板大会を愛知で行うことを報告された。最後に瀬戸の山口氏の閉会の辞で無事総会を終えた。

最上階の展望室に場を移し、懇親会が始まる。中華の円卓を囲みながら、酒も入り徐々に盛り上がり各々が懇親を深めながら最後に一本じめで会を終えた。

津島 猪飼

\$・エスアイ研親会開催

池田商店（\$研親会・第19回総会）が3月5日（火）～6日（水）勉強・勉強親睦会を兼ねて開催されました。名古屋駅西口に集合、8時半、バス2台で出発。今回の最初の見学地岐阜県安八町の三洋電機岐阜事業所に向かった。同所へ近づくと、かなり遠くから巨大な建物が目に入ってきた。これが今回の見学先「大規模太陽光発電施設ソーラーパーク」だ。目の前に来て改めてその巨大さに驚かされた。長さ・315m、高さ・37m程のノアの箱舟をイメージしたデザインは正に未来の「ノアの箱舟」を思わせる巨大な側面（南面）に新開発された、太陽電池パネル5,046枚貼付けた最大出力・630kw、年間発電量・53万kw/hの発電施設で、まだ出来たばかりでオープン前の特別に見学させて頂いたそうです。ビデオによる概要説明の後、施設の中を見学して、昼前、三洋電機を後にした。春とはいえず米原ジャンクションから北陸道に入った頃から田畑や山陰に雪の残る冬の福井に入った。ここで、福井恐竜博物館に寄って総ステンドレス（1冊）貼り

の卵型をした展示館を見学しその施工技術に感心した。

午後3時ごろ加賀・山代温泉ホテル「瑠璃光」に到着、すぐにコンベンションホールにおいて総会に入った。

開会に先立ち、昨年度お亡くなりになられた方々のご冥福を祈り、黙祷を捧げた後、岩田板金社長「岩田 明」氏の開会の辞に始まり、代表幹事「沼澤啓二」氏の挨拶と池田商店会長「池田惣一」氏（昨年8月社長を退任）の挨拶に続いて議事に入った。

（昨年度事業経過報告）を柴田幸治幹事、（昨年度会計報告）を澤田隆一幹事より報告され議事を終了。続いて、本日多数参加して頂いた、メー



沼澤代表幹事

カー、商社を代表し「日本鉄板（株）名古屋支店支店長」小林晴久氏が挨拶された。最後に岩井部長により祝電の披露と斎藤飯工業社長「斎藤充昭」氏による閉会の言葉で総会を終了。各部屋に入って、くつろいだ後、6時半より第二部の懇親会に入り一向に明るさの见えない仕事の事など忘れて、親睦やコンパニオンを交えてのカラオケと、時の経つのも忘れて二次へと続いた。

翌朝、昨日からの雨の残る中、8時半、ホテルを出発、福井に向かった。途中、お菓子の城に寄り、今研親会で期待の「大安禅寺」へ10時過ぎに着いた。こちらの「高橋友峰」住職は平成9年第14回\$研親会の時、講演をお聞きして以来、もう一度あのユニークな法話を聞きたいと思っていて、やっと実現した。広い



池田惣一 池田商店会長

法話堂もいっばいの盛況、皆さん、大安和尚です。で始まる、ビデオによる「おもしろ座禅教室」では、禅の仕方、禅の心をおもしろおかしく説いて頂き、次に和尚みずから「心に花を咲かせましょう」のテーマで、生き生き法話を、実にユニークでユーモラスに聞かせて頂き、最後に（一）に掃除（二）に笑顔・三四元気におかけさまのキャッチフレーズで締めくくられた。もっと長く聞いていたい気持ちを残し、大安和尚に握手して帰路についた。

「花しょうぶの寺」だそうで一面花の6月が良いそうです。名古屋に着いたのは5時頃だった。ちなみに大安禅寺のホームページです。一度開いて見てはいかがですか？
<http://www.daijanzinji.com>

熱田・南 伊藤

*** 知多支部定例総会開催 ***

知多支部は去る三月三十一日（日）、東海市立勤労センターに於いて午前10時より盛大に総会を開催した。

当日は晴天に恵まれ、一足早い桜を窓越しに眺め、県板から村上市理事長を始め、商社・メーカーなど多くのご来賓のご出席を頂き開催となった。

先ずは、理事・神谷恒男氏の司会にてスタート。議長には後藤啓介氏を選任、提案された議案も流暢な流れにより全て可決、今回は役員改選が無いため時間的に余裕ができたようだ。議長退席、その後引き続いて、本部事業報告・献血活動報告・青年部活動報告、更に優良献血提供者には感謝の意を込め蟹江重光支部長より感謝状を贈呈した。表彰された磯部逸夫氏は献血された回数は三十回にも及び、頭の下がる思いです。

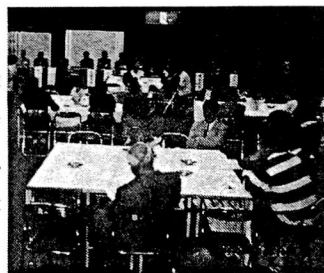
次にご来賓として出席された村上市理事長のご祝辞を頂戴



蟹江支部長

し、不景気時代のどん底にあるが、どう対応して行くべきか、如何に経営の手腕を発揮すべきかが問われ、重要な課題としお互いに難局を乗り切らねばとの談。併せて商社・メーカーの方々からもご祝辞並び祝電を頂き有り難うございました。続いて、商社・メーカーによる商品の説明のコーナーを設け活発に交わされ、参加した組合員に好感と称賛を浴びた。総会も順調な経緯により閉会の辞には、松本富夫氏による締めめの挨拶となった。休憩の後、商社・メーカーの方々を交えての懇親会に移り、久しぶりの再会、お互い年輪が揃い合い、時代の経過と共に過ぎ行く過去、安否を気遣いながら、美酒の味に酔い、会話を添え顔には笑顔が。誰しもが願う景気回復、それらを願いつつ、又の再会を期待し散会となった。

沼澤



総会風景

豊田板金工業組合

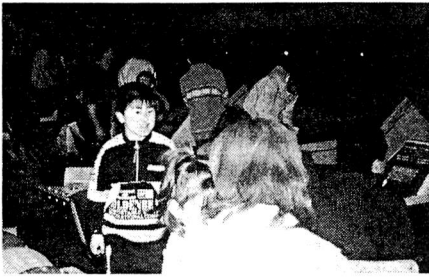
親睦ボーリング大会を開催

豊田板金工業組合（赤池高義組合長）は去る2月23日（出）豊田市元町の美鳥里ボールに於いて恒例の親睦ボーリング大会を開催しました。参加者は18事業所・70人でした。ゲームは午後7時にスタートし2ゲームのトータルビンで順位を争いました。ゲーム終了後、場所をミーティングルームに移して表彰式を行い、男性の部1位 加藤孝治氏（横山興業㈱）、女性の部1位 甲斐さとさん（横山興業㈱）、子供の部1位 今井博一君（今井板金工業所）二年連続という結果になりました。私も家族といっしょに投げさせ



各クラスの優勝者

ていただきましたが、結果は26位でした。（今回の大会で気が付いたことは、去年までお母さんに抱っこされていた子が今年は重いボーリングのボールを一生懸命投げたことで、回数を重ねるといふような事が見えてくるなと思いました。）と去年の愛板に書きましたが、今年は同世代の方でお孫さんを連れて参加されているのを見て、またまた色々なことに思いを巡らせました。組合企画委員会（鈴木昭人氏）の設営、健闘により多数の組合員さんに参加をいただき、横山興業㈱（問屋）様もたくさん参加していただ



ボーリング大会風景

きました。また、賞品も盛り沢山（恒例のティッシュペーパーの多いこと）でした。参加さ

れた方全員が楽しめたボーリング大会であったと思います。 豊田 松井

屋根・外壁材

今、住宅の屋根・壁材に新たな潮流が見え始めているようだ。戦後、急速に需要を伸ばした鋼板は、オイルショック以降、石綿セメント着色板やサイディングに押され続けしてきた。しかし、二十一世紀を迎え再び鋼板素材の採用が増加傾向にあるらしい。住宅専門誌である「新建築住宅特集Jt」や「住宅建築」によると二〇〇〇年度一年間における掲載件数では、金属系屋根材が全体の六〇％を越えたという。原板性能の格段の向上や、塗装技術の進歩等、製造側の努力はもちろんのこと、コストパフォーマンスや優れた耐久性・耐久性・加工性などが、再び認識され評価され始めたということである。短所とされてきた、安っぽい・音がうるさい・錆びるなどの従来のイメージは払拭され、むしろ、自然素材を模倣した偽物的な材料を使うならば、いっそシンプルで素直に材料の特質や素材感が出ている鋼板の方が使いやすく、若い世

代のライフスタイルに合った家づくりに適応しやすいという。確かに、ここ数年の住宅は、屋根は平板洋瓦、壁は窯業系サイディングというパターンばかりがやけに目につく。それはそれで決して悪くはないし、デザイン的には優れた物も多数あるのだが、やや見飽きて辟易気味である。といったところが正直な感想であろう。また、二十一世紀は【環境の時代】と言われてるが、鋼板は耐用年数も長く、リサイクルも可能だ。こうした環境問題への対応も追い風になるだろう。鋼板を扱うには熟練した板金技術が必要であり、そういった技術を絶やさぬよう大切に扱い、もっと日の当たる場所に位置付けよう。という風潮も感じられる。幸い、我々には技術はある。後はこの風をどう受け止め、どんなふうに乗っこなして行けるか……、頑張るところである。 ※大同鋼板㈱（住まいの屋根・壁）参照 東三 松浦

豊田板金工業組合

平成14年度第46回総会

平成14年3月30日（出）、平成14年度豊田板金工業組合の定時総会が豊田市小坂本町の「豊田産業文化センター」4階41会議室に於いて開催されました。

組合員総数50名中総会出席24名、委任状出席10名でした。松井祐治氏の司会により開会した総会は、赤池組合長の挨拶の後、来賓挨拶を県板村上理事長、毛利貞夫西三板金連合会会長、横山眞久横山興業㈱社長、長谷川賢市豊田高等職業訓練校校長、愛知県中小企業共済協同組合柴田孝男様にいただきました。



総会風景

続いて奥田憩氏を議長に選出して議事に入り、平成13年度事業報告、会計報告、会計監査報告が可決承認されました。その後平成14年度事業計画案及び予算案が可決承認されました。続いて組合創立50周年記念事業実行委員会の設置の件についても、原案通り可決承認されました。

議案審議終了後、各報告事項の発表となり、青年部報告、技能委員会報告、豊田高等職業訓練校講師報告、新班長さんの紹介、豊田支部の単価表についての発表があり総会は閉会しました。続いて平成13年度をもって退会される2事業所に長年の協力に對し感謝状と記念品が贈られました。

休憩の後講演会に移り、医療法人 豊昌会 豊田健康管理クリニック様による「健康管理断について」と横山興業㈱社長 横山眞久様による「現在の状況の分析」のお話がありました。特に横山社長の講演は、板金業者の現状の話であり、いかに現状を打破するかヒントであったと思います。

豊田 松井

「悪質商法」に注意!!

先日、東三恒例のミニ講演会に、愛知県東三河消費生活センターの田島所長をお迎えし、最近の消費者苦情相談の現状や悪質商法の手口などの講話を頂いた。

ここ数年、愛知県の消費生活センターに寄せられた相談件数は年々増加し、中でも70歳以上の高齢者からの相談の割合が高くなっている。高齢者は自宅にいる時間が比較的に長く、訪問販売による勧誘を受ける機会が多く、家屋の工事や床下換気扇、浄水器に関する相談で、訪れた販売員の言葉に不安になったり、恐怖を感じたりして契約をしてしまい、トラブルとなる事例が多くなっている。また、布団類、電気治療器具等の催眠商法に関する相談が多いのも高齢者の特徴である。

「悪質商法」の種類と手口

(1)SF（催眠）商法

高齢者を主にターゲットにし、安売り、講習会などを名目に、閉め切った会場へ多数の人を集める。無料で日用雑貨品を配付し、巧みな話術で雰囲気盛り上げ、一種の催眠状態を作りだす。最後に販売目的の高額商品が登場し、催眠状態の中で契約をさせて

しまう。

(2)ネガティブ・オプション（送りつけ商法）

会社など事業所をターゲットにした商法。注文していない商品を一方的に送りつけ、消費者が勘違いして代金を支払う事を狙う方法で、商品には書籍、ビデオテープが多く、化粧品やお経を書いたカードなどもある。中には代金引換郵便を悪用する例もあるので要注意。

(3)訪問販売

主に主婦が狙われる。消防署や水道局から依頼を受けて来た様に思わせ、消火器や浄水器を販売。点検商法・アンケート商法・モニター商法などがあり、ウソの点検結果を言って不安にさせたり、アンケートのお礼として無料で浄水器をプレゼントし、高額なカートリッジの長期契約を迫ったりする。

(4)キヤッチルス

未成年や大学生など若い女性をターゲット。商品には化粧品、指輪、エステティックの会員などがある。路上や駅前などで「アンケートの協力」や「お肌の無料診断」等の言葉で呼び止め、営業所、喫茶店等に誘い込む。その後、本来の目的の「商品・サービス」

を長時間勧誘し、しっかりと判断ができない状態で契約を迫ってくる。

(5)アポイントメント商法

若い男性がよく狙われる。知らない女性から電話があり「イベントやっているから遊びに来て!!」とか「アンケートに答えてくれたらイイ事あるヨ!!」などと友達感覚で誘われ、好奇心でノコノコ出かけると、指輪、ネックレス、ダイヤモンド、絵画などの商品の契約を迫られる。

以上の様な悪質商法により契約をしてしまった場合でも「クーリング・オフ（無条件解約）」制度を利用すれば契約を解約する事が可能。悪質商法にひっかかってもしき寝入りせずに「クーリング・オフ」で対処する事が大事である。最後に、「だまされない」「被害にあわない」ための5つのポイント。

①必要がなければキッパリ断る。

②うまいもうけ話には注意する。

③その場で契約しない。現金を渡さない。

④契約の前に契約書をよく読み、家族・友人と相談する。

⑤預金通帳や印鑑を他人に渡さない。

東三 松浦

3月各支部の動き

中村支部

19日 定例会 12名

西支部

23日 支部会 6名

健康保険証更新
雪止金物施行方法

中支部

23日 支部会 8名

熱田南支部

28日 定例会

昭和支部

8日 例会 13名

国民年金基金・県板
共済保険の加入促進
名古屋連合会総会について

瑞穂支部

3・4日 支部総会・三河
三谷ホテル平野屋

尾張板金連合会

3日 総会 50名

小牧支部

9日 定例会 11名

瀬戸支部

16日 定例会 8名

春日井支部

8日 月例会 14名

津島支部

26日 役員会 4名

岩倉支部

5日 定例会 8名

西三板金連合会

12日 月例会 3名

26日 三役会議

8名

新年懇親会の総括 積算資料作成の進行 状況と勉強会開催予 定等について

岡崎支部

8日 潮干狩準備会

碧南支部

30日 成人訓練反省会

豊田支部

8日 青年部総会

第11回役員班長会

16日 青年部第22回総会

23日 支部4役会

25日 支部4役会

30日 第46回通常総会

13日 新旧役員会

13日 支部役員会

14日 青年部定例会

15日 支部役員会

16日 支部役員会

14日 支部役員会

15日 支部役員会

22日 青年部総会

31日 支部定期総会

24名

6名

24名

24名

24名

24名

24名

24名

24名

24名

24名

24名

24名

24名

24名

24名

24名

編集後記

「偽装」今年は牛肉の偽装で全国で何社もの食肉業者が偽装工作をして摘発され破産に追いこめられている。口にする生鮮食品ですら偽のラベルを貼り消費者をごまかしていた。

二十五年ほど以前まだ住宅の屋根に瓦葺きの屋根が圧倒的に多く施工されていた頃、あるハウスメーカーの屋根工事で瓦葺の施工作業をしていた監督が工事を見に来てキャップの板厚を聞いたので、ごく当たり前に0.4ミリと答えた。その後大変な問題が持ち上がった。他の現場で同じ事を聞いたところその工事をしていた板金店はキャップは0.4ミリだと締め機をかけるのに硬くて大変なので0.35ミリで施工していると言ったそうである。工事店会で問題となり0.4ミリで徹底するよう通達が出され、当然0.35ミリで施工していた板金店には発注されなくなった。責任施工保証制度を組合の事業の1番のスローガンとして挙げている。自分に恥じない責任ある仕事をして保証書を発行して、信用を得よう。

三月二十七日(木) 雨
三七〇号編集委員会
委員 八名 出席
午後五時終了 驚見